



今回はデータグラフ化機能付き入力シートで、作業を効率化しました。その上で、財政分析の手法を学びます。

Excel で学ぶ財政分析講座/歳出編

1/31、2/1

- ◆講師 **大和田一紘** (NPO法人多摩住民自治研究所理事)
石山 雄貴 (NPO法人多摩住民自治研究所研究員)
- ◆期 日 2016年1月31日(日)、2月1日(月)
- ◆会 場 富士電機能力開発センター (JR中央線豊田駅北口徒歩5分)
- ◆対 象 財政分析基礎講座を受講された方
- ◆定 員 30名(先着順)
- ◆参加費 29,700円(消費税込) *当研究所会員24,700円
- ◆宿 泊 希望者は同じ施設に宿泊できます。朝食付きで6,200円
- ◆持ち物 ①Microsoft Excel(2013・2010・2007)をインストール済のノートパソコン(OSはwindows)。②10年分以上記入した分析表(入力用USBメモリーを事前送付します)
- ◆特 色 ①当研究所が提供するデータグラフ化機能付き入力シートで省力化を実現。
②目的別歳出の経年的分析によって、わがまちの特徴を知ります
③グラフの作成のためのデータの取り出し方、財政分析のためのグラフの見方を知ります。
- ◆申込み 下記の申込書を FAX または、メールでお送りください。申し込まれた方には受講案内(会場地図・宿泊案内・USBメモリー・持物案内等)をお送りします。
- ◆ご注意 この講座に申込みできるのは2日間通して参加できる方です。

◆申し込まれた方には事前に、データグラフ化機能付き入力シートを格納したUSBメモリーをお送りします。

●Excel で学ぶ財政分析講座/歳出編カリキュラム●

* 講義では当研究所が提供するデータグラフ化機能付き入力シートを使用します!

第1講 自治体財政のより良い公開のあり方を考えよう 13:00~14:00

・総務省の地方財政に関するホームページの改正、「財政状況資料集」の開示、都道府県ごとに異なる財政の公開状況等、地方分権一括法の施行(2000年4月)以降進んだ財政情報の公開の流れは新たな段階に入ってきました。現在の財政情報の流れを掴むとともにその問題点を考えましょう。

第2講 目的別歳出からわがまちの財政の特徴を考えよう 14:15~16:00

・目的別歳出では、歳出が「行政目的」に応じて区分されます。そのため、目的別歳出を分析することでこれまでわがまちがどの分野に力を入れてきたのかを把握することができます。目的別歳出の決算額や充当一般財源等の額を経年的に分析することで、わがまちの財政の特徴を明らかにし、今後どの分野に力を入れていくべきなのかを考えましょう。

第3講 性質別歳出からわがまちの財政の運営を考えよう 16:15~18:00

・性質別歳出では、歳出の経済的性質に応じて区分されます。そのため、性質別歳出を分析することでこれまでわがまちがどのような財政運営をしてきたのかを点検することができます。わがまちの財政や他自治体の財政を分析することで、地方財政の側面からわがまちの持続可能な財政規律に何が必要なのかを考えましょう。

第4講 財政指標に強くなろう 18:15~19:30

・市町村財政をより深く理解するためには財政指標を読み解き、経年的に把握することが不可欠です。様々な財政指標を学び、わがまちの財政が余裕を持った自治体なのか、将来の財政負担がどのくらいなのかをつかみましょう。

第5講 財政状況資料集を正しく読む 9:00~12:00

・平成22年度から財政状況資料集が開示されました。この財政資料には、財政健全化法に関連して、自治体の特別会計にも踏み込んだ指標等が掲載されています。これらの指標の理解は、自治体の財政運営を考えていくために不可欠です。財政状況資料集を正しく読み解く手法を学び、財政健全化法の生かし方を考えましょう。

第6講 自治体総合計画と「地方創生」 13:00~15:00

・政府の「地方創生」政策や雇用の悪化、世界の最先端を行く高齢化のスピードのもとで市町村には様々な「新しいこと」が求められています。これらを考える上で長期財政の見通しが不可欠になります。さらにこれは、より良い長期総合計画の策定にも繋がっていきます。市民が望み、市民が主体となっていく施策を実現するためにどうすべきか。その手順や方策を考え、本当の地域のあり方を考えましょう。

31日(日)

1日(月)

Excel で学ぶ財政分析講座/歳出編 参加申込書

■氏名 _____

■領収書宛て名(名称) _____

■住所 〒 _____

■電話 _____ ■FAX _____

■携帯電話 _____ ■e-mail _____

*○で囲んでください。■宿泊 希望する 希望しない ■割引 当研究所会員 非会員

主催: NPO法人多摩住民自治研究所 〒191-0016 日野市神明3-10-5 エスプリ日野 103
TEL042-586-7651 Fax042-514-8096 E-mail tamajitiken1972@space.ocn.ne.jp http://www.tamaken.org

Excel で学ぶ財政分析講座/歳出編の特徴

データグラフ化機能付き入力シートで、財政分析の手法を学ぶ

Excel で学ぶ財政分析講座は以前からの「パソコンによる財政分析」の要望に応じて開発したものです。今年8月と11月には各地で講座を開催し、受講者のご意見を参考に改善しました。

◆「大和田流」財政分析をパソコンで、さらに理解を深める

基本は「大和田流」財政分析にパソコンを使うことで、さらに、理解が深まることを目的にしています。エクセルの操作を習得するために行うわけではありません。ただ、学ぶ上でアシストを必要とする参加者のために、アシスタントを配置します。

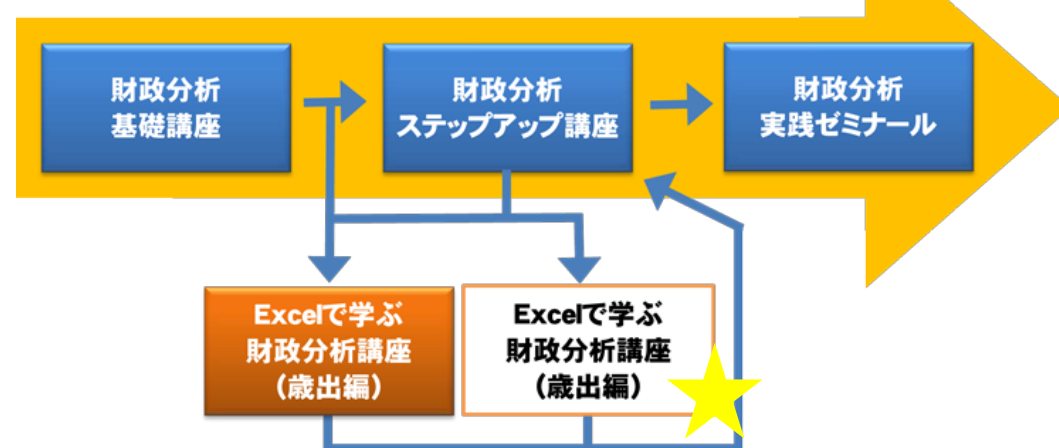
◆「10年分以上記入した分析表」のExcel への打ち込みについて

わがまちの財政状況を分析する上で、元となる「10年分以上記入した分析表」のExcel への打ち込みについては、事前に当研究所から「入力用USBメモリー」を送付し、講座当日に入力する時間と労力を減らすようにしました。上記のUSBメモリーの入力シートにはデータを入力し、ENTERキーを押すと、自動的にグラフ化する機能が埋め込まれています。

◆Excel データの読み方、財政分析の手法を学ぶ

財政分析基礎講座やステップアップ講座で学んだことを踏まえ、上記のデータやグラフをどう読むか、財政分析の手法を学びます。

財政分析講座受講のフローチャート
講座に継続的に参加することで、様々な角度から
財政を身に着けることができます。



Excel で学ぶ財政分析講座は財政分析基礎講座をご受講されていれば、
どちらも単発で受講できます。



大和田一紘
(おおわだ いっこう)

1943年、青森県弘前市生まれ。北海道立札幌南高校卒。東京学芸大学大学院教育学研究科修了。東京都自然環境保全審議会委員を6期12年、東京都環境科学研究所研究員、中央大学社会科学研究所客員研究員、埼玉大学と法政大学などを歴任。

現在、NPO法人多摩住民自治研究所理事、多摩学会と日本環境学会に所属、専門は環境教育、環境政策、まちづくり論、地方自治、地方財政。また『日経グローバル』に、「実例で見る自治体財政」を連載中。著書『習うより慣れるの市町村財政分析』(単著)、『市民による市民のための合併検証』(編著)、『広域連合と一部事務組合』(共著)、『市民が財政白書をつくったら……』(編著)他多数

講師

プロフィール



石山 雄貴
(いしやま ゆうき)

1989年、東京都江戸川区生まれ。NPO法人多摩住民自治研究所研究員。2012年度東京農工大学農学府共生持続社会学専攻卒業、2013年度東京農工大学連合農学研究科農林共生社会学専攻入学。論文：「東日本大震災における復興に向けた防災コミュニティ活動とESD～気仙沼復興商店街の取り組みを事例に～」(日本環境教育学会研究・実践奨励賞受賞、2012年8月)。「教師が結ぶ地域の復興教育」月刊社会教育58(11)、2014。・所属学会：地方財政学会、日本環境教育学会、日本社会教育学会

◆受講者の声—11/8～9 Excel で学ぶ財政分析/歳入編

- 事前に送られてきたエクセル表。グラフ化は経年的につかむうえで役立ちます。
- やはり泊りがけで余裕をもってやるのがいいと思いました。食事で先生や、他の方と語り合ったのがさらによかった。
- 基本的な知識が不足しているため、理解するのが難しい
- 臨財債難しいです
- Excel の入力データを頂いて、私どもが入力し、送信。添削していただき、当該市の財政分析を基本的なものをやってもらって返信。理解を深め研修にのぞむというフィードバック。



▲講義風景